

感染症等の対策に関する留意事項について

大分県中学校体育連盟 サッカー競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 生徒に発熱など風邪症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (3) 試合会場に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は必ずマスクを着用すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた場合は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (4) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (5) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共有はしないこと。
- (6) 競技に使用する共有の用具（ボール等）については、競技専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (7) 競技会場内では、競技専門部（係員）の指示や誘導に従うこと。
- (8) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県中体連事務局に速やかに報告すること。

2 サッカー競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・観戦についてはベンチ入り以外の選手、選手の保護者、祖父母、兄弟姉妹で、各家庭必要最小限の人数とする。
- ・選手、引率者等は「体調記録表」を顧問に提出する。
- ・顧問は大会中の試合日ごとに「学校同行者体調記録表」（監督、引率者、コーチ、選手）を本部に提出する。
- ・顧問は「来場者体調記録表」（保護者）を本部に提出する。
- ・本大会にかかわる全ての者（競技役員、引率者、監督、選手、保護者）は、本大会の2週間前からの行動を事前に配布した「行動履歴書」に記録をすること。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・液体せっけん・消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・ベンチは、密にならないように座席を2m離して設営する。
- ・試合終了ごとにベンチの消毒を行う。
- ・試合開始・終了時の挨拶は握手をせずに礼のみを行う。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避ける。
- ・試合終了後の対戦チームや応援席への挨拶は行わない。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・試合前後、ハーフタイム時には、手洗いや消毒を行う。

【選手・役員・保護者等】

《密閉》

- ・更衣室、控室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限するので注意すること。

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・競技中以外でマスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2mを保つこと。
- ・応援の場合においても人との距離はできるだけ2mを保つこと。
- ・試合開始、終了時の挨拶は握手をせずに礼のみを行うこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・試合終了後の対戦チーム・応援席への挨拶は行わないこと

《密集》

- ・観戦についてはベンチ入り以外の選手、選手の保護者、祖父母、兄弟姉妹で、各家庭必要最小限の人数とする。
- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保ちマスクを装着すること。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。